

ふるさと ゆかりの人々 (1)

「日本のナイチンゲール 萩原タケ女史」 ～20歳で自立した人生を切り開いた明治の女性～

明治26年(1893年)、20歳の女性が大きな夢と希望を胸に五日市の町を旅立ちました。彼女の名前は、萩原タケ。あきる野市が誇る郷土の偉人です。今回、彼女についてご紹介します。

生りの大きな転換期となりました。明治40年に公爵夫人の随員としてフランスに赴き、任務終了後にそのままパリにとどまり、フランス語の習得にも励みました。明治42年にはロンドンで開かれた看護婦国際大会に日赤看護婦代表として出席し、諸外国の要人との交流を深めていきました。帰国後は、日本赤十字病院看護監督となり、その後28年間後進の指導育成にあたりました。そして、大正9年(1920年)には、これまでの日赤での功績が高く評価され、赤十字国際委員会から日本で最初のナイチンゲール記章を授与されました。タケが47歳の時のことでした。

昭和11年(1936年)5月27日、日赤病院内で他界しました。享年63歳でした。日赤では、盛大な病院葬をもって生前の功に報いました。

20歳で自分の人生を切り開き、明治、大正、昭和と3時代を前向きに生きた不屈の女性、萩原タケの生き様は、あきる野市民の大きな誇りであり、私たちに大きな夢と希望を与えてくれます。



病院船の看護婦長のころのタケ(27歳)

五日市郷土館では、耐震工事を完了し、4月1日から「萩原タケ」のコーナーを新たに設置して閉館しました。ぜひご来館ください。

萩原タケは、明治6年(1873年)2月7日、五日市の炭問屋の娘として生まれました。5歳の時に勤能学校に通い、優等賞をもらうほど優秀でした。向学心旺盛な彼女は、弟たちの面倒をみながら、たくさんの本を読んでいました。18歳の時に女性誌の通信教育を受け、和歌や算術、理化学などの全科を修了しました。その後、自炊して産婆学校に通いましたが、学費の負担のためか、途中で断念して郷里に帰りました。このつまづきが、後のタケの人生に大きく影響したと思われます。その後、彼女は迷うことなく日本赤十字社の看護婦への道を進んでいきます。

当時、日赤の看護婦生徒は給料をもらいながら勉学に励むことができたことから、おそらく両親への負担を避け、自分の力で望む道を進む決心をしたのではないかと考えられます。

20歳で入学したタケは、その後、日清戦争、北清事変、日露戦争における救護を経験しました。中でも北清事変の時には、選りすぐりの看護婦の中から病院船の看護婦長に抜擢され、日本と中国を7往復して日本人だけでなくフランス人などの外国の傷病兵も搬送しました。また、明治29年の三陸大津波の際には、約160キロもの距離を徒歩で被災地に向かい、その救護に活躍しました。

その後、海外でさまざまな見聞を広めていきますが、これがタケの人

第3期 森の子 コレンジャー募集

森の子コレンジャーが発足して2年。あきる野市の身近で豊かな自然を舞台に、山に登ったり、野生動物の調査をしたり、間伐を体験したりと、森の学びや森づくりの活動を広げてきました。今年度のコレンジャーのテーマは「より深く自然を学ぶ活動」です。森林レンジャーが日々行う調査、巡視、整備活動を通して将来の「芽」を育てていきます。そのため、自然を深く学びたい、自然のことを1年間を通して研究したいなど、強い思いのある子どもたちを募集します。

森の子コレンジャーは、あきる野の自然を愛する将来の森林レンジャーを育てる活動です。対象 小学校4年生～6年生

の男女(6年生はリーダーとして活動できるコレンジャー経験者) 定員 20人(1年間一緒に活動できること) 定員を超えた場合は選考し、4月末日までに結果を通知日時 基本的に年8回(5月、6月、8月、10月、12月、1月、2月、3月の第2日曜日、午前9時～午後4時(予定、季節により変更あり)初回の5月は第3日曜日)活動場所 小宮ふるさと自然体験学校と市内の森(現地集合・解散)費用 4千円(1年間の活動実費、保険代を含む)応募方法 4月18日(木)消印有効)までに、専用の応募用紙に記入し、送付してください。応募用紙は各学校から配布していますが、連絡をいただけ

れば送付します。 応募・問合せ 環境政策課 境の森推進係(〒190 58・1111) 50

森林サポートレンジャー あきる野を募集します

豊かな自然の中であきる野の森づくりをしませんか? 市では、郷土の恵みの森づくりを推進するため、地域と協働して町内会・自治会が実施する昔道・尾根道の補修や景観整備などに取り組んでいます。この取組を支援するため、市民をはじめ企業や団体の皆さんのボランティア組織である森林サポートレンジャーあきる野を設置し、地域の森づくりのお手伝いをしています。地域と協働

の森づくり活動をさらに充実させるため、次のとおりメンバーを募集します。 対象 森づくりに関心のある方(市民、企業、団体)で、ボランティアで参加できる方。現地に直接集合できる方。実施日 土曜・日曜日を基本として年間を通じて随時実施(半日または1日) 場所 市内の森林 作業内容 尾根道、昔道などの草刈り、山道の整備、道標の設置、花木の植栽など 個人で参加される隊員は、ボランティア保険に加入します。都合の良い日に参加してください。 応募方法 随時受け付けしていただきますので、電話で申し込んでください。 応募・問合せ 環境政策課 境の森推進係(〒190 58・1111)

表 市民力レジン人材養成「入門講座」講座内容

科目(単位)	講師	内容	日時
人物伝	坂上洋之氏 溝口重郎氏	市内の優れた人物の心豊かな生き方と業績	5月27日、6月24日、7月29日、8月26日の月曜日 午後2時～4時
考古学	館野孝氏	考古学の始まり	6月7日、7月12日、8月9日、9月6日の金曜日 午後2時～4時
中世史	加藤哲氏	あきる野の中世	8月24日、9月21日、10月19日、11月9日、12月14日の土曜日 午後2時～4時
伝統産業	坂上洋之氏	市内に受け継がれている産業・歴史	8月5日、9月2日、10月7日、11月11日の月曜日 午後2時～4時
地域めぐり	市民解説員	市内の歴史・自然などの地域理解と解説方法(現地学習)	5月29日、6月26日、11月6日、12月4日の水曜日 正午～午後4時

内容・期日・時間は、変更になる場合があります。

市民解説員養成講座 習得した知識・技術を多くの方に伝える市民解説員(学習ボランティア)の養成講座として市民力レジン人材養成「入門講座」を行います。 日程など 表のとおり 場所 中央公民館ほか 定員 各15人(抽選) 対象 あきる野市の歴史や文化に興味のある市民の方 費用 1科目1500円

その他 全12科目を受講し、単位を取得した方が市民解説員の対象となり、解説実習を受講します(既に単位を取得した科目は受講できません)。申込み方法は、4月17日(水)必着)までに、はがきに、郵便番号、住所、氏名、電話番号、受講科目を記入し、申し込んでください。 申込み・問合せ 中央公民館(〒190 58・1111) 559・122

「広報あきる野」の個別配布サービスを受け付けています 市では、新聞折込で配布している「広報あきる野」を受け取れない世帯や事業所にも、申込みにより、広報紙を個別に配布しています。 申込みできる方 市内に住所があり、広報紙を折込している新聞(読売、朝日、毎日、産経、日経、東京の各紙朝刊)を購読していない方で、個別配布を希望する方(1世帯当たり1件の申込みに限ります) 申込み方法 市役所市民課(〒190 58・1111) 558・1113

二宮考古館特別展「あきる野の石造物」



館となります。 場所 二宮考古館 内容 市内の石造物を写真や解説を交え紹介します。 問合せ 二宮考古館(〒190 58・1111) 55

「さくら観賞」
2013年4月6日(土)～14日(日)
場所 東京サマーランド ファミリーパーク
開催時間 10:00～17:00(各日)
入園料 無料 (駐車料金 無料)

イベント情報 4月7日・14日(10:00～15:00)開催
フリーマーケット あきる野産品販売
お花見探検ゲーム
税を見ながら家族みんなで楽しめて暗号を解いたら抽選で素敵な賞品が当たる体験型ゲームです。
10:00～14:00(受付は12:00までとなります。)

WATER ADVENTURE 東京サマーランド ☎042-558-6511(代) http://www.summerland.co.jp/